

取扱説明書

JX-B ダクト式無煙ロースター

形名 JX-B（溶岩炭タイプ）

- このたびはロースターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に この取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解して下さい。
- お読みになった後は いつも手元においてご使用下さい。

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名称	3
準備	4
使いかた	6
お手入のしかた	7
仕様	9
さいごに	10

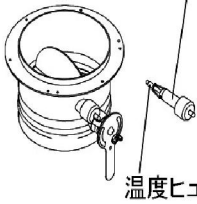
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ 正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。

- ガス漏れに気づいたときはすぐに機器の使用をやめ、ガス栓を閉じ、窓や戸を開放し、ガスを外に出し、販売者またはガス供給者に連絡し、全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないこと。炎や火花で引火し、爆発事故の原因になります。
- 本体に貼ってある銘板のガス種以外では使用しないこと。
異常燃焼で火災、火傷や一酸化炭素中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。
不明な場合は、販売者またはガス事業者にご連絡してください。
- 引越しや移設をされたときは、供給ガスの種類と機器銘板のガス種が一致していることを、必ず確かめてください。
- 可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶、ガソリン、ベンジン、接着剤、石油缶など）のものを機器の上やまわりに置いたり、使用したりしないこと。
焦げたり燃えたりして火災の原因になります。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところに設置しないこと。
機器の上に落ちたものが燃えて、機器が破損したり、火災の原因になります。
- 機器を設置した後、機器の周辺の改造をしないこと。
設置基準上問題となる場合があり、不完全燃焼や火災の原因になります。
- 水槽に水が入っていない状態で使用しないこと。
火災の原因になります。
- 絶対に分解したり改造はしないこと。
異常動作したり故障の原因になります。
- 使用時には換気扇を回し、必ず換気すること。
換気しないと室内の空気が汚れて不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります。

- 地震、火災など緊急時や、使用中に異常な燃焼、臭気、音等ふだんと違った状態になったとき、不都合が生じたときには、ただちに使用を中止すること。
火災、火傷、一酸化炭素中毒の原因になります。
- 強い風の吹き込むところや屋外に設置しないこと。
性能が十分に発揮できなかつたり、炎が消えたり、風にあおられて周囲のものの過熱の原因になることがあります。
- 安定性の良い丈夫で水平なところに設置すること。
不安定で傾いたところに設置すると、機器の落下や異常加熱などによって、ケガや火傷の原因になることがあります。
- 点火のときや使用中はバーナー付近に顔を近付けすぎないこと。
火傷の原因になります。
- 使用中および使用直後は、網や機器本体と、その周辺が熱くなっているので、操作部以外は触らないこと。
火傷の原因になります。
- 使用中および、使用直後は焼網や水槽、放熱板、熱板受け、それら周辺部は高温になっているので、持ち運びの際は、落としたり、こぼしたりしないように注意すること。 火傷の原因になります。



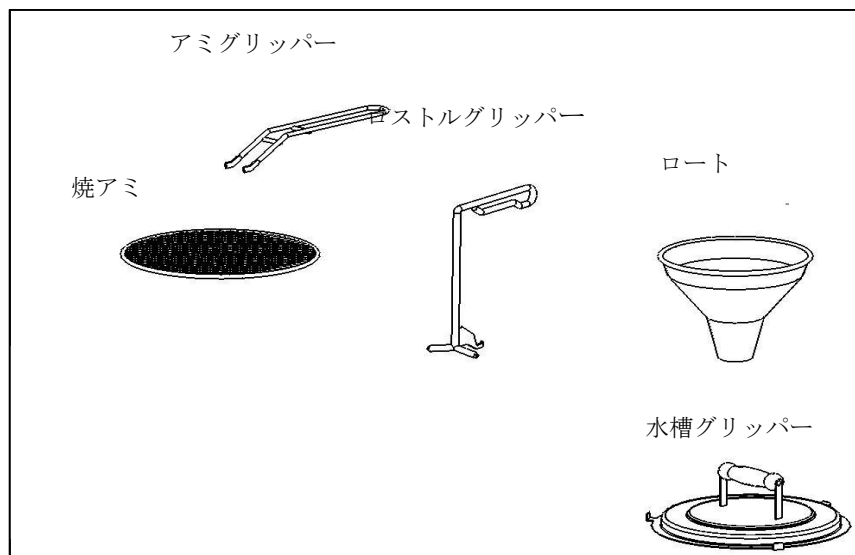
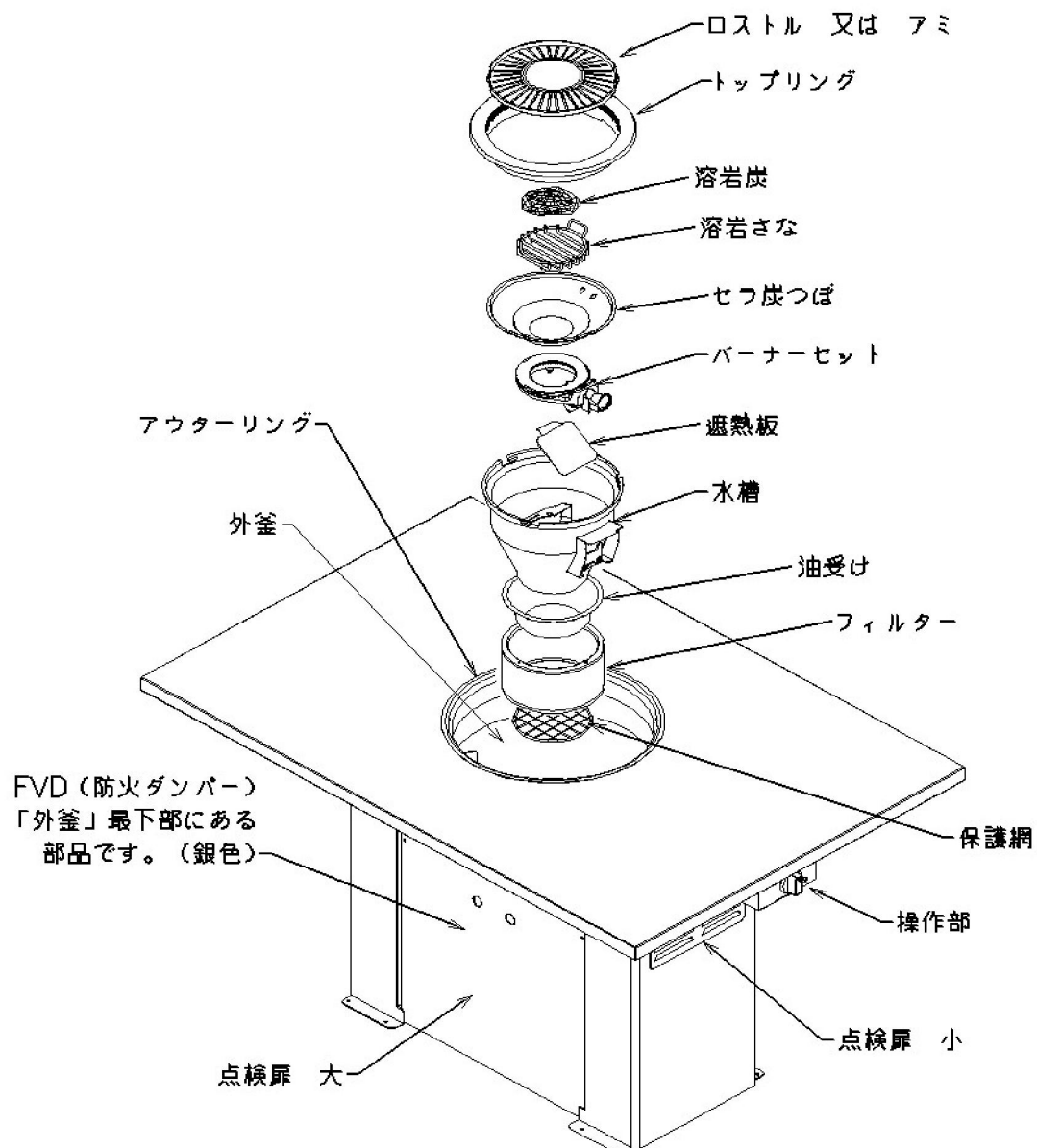
ヒューズホルダー

温度ヒューズ

【重要なお知らせ】

1. FVD、温度ヒューズ、ヒューズホルダーの清掃を定期的の実施して下さい。
汚れ等が付着していると正常に作動しない恐れがあります。
2. 温度ヒューズ、ヒューズホルダーは定期的(1年ごと)に交換が必要です。
3. 1ヶ月に一度以上、FVDの作動テストを実施してください。 作動に不具合がある場合は、
速やかにお買い上げの販売店、弊社まで修理依頼をお願いいたします。

各部の名前



準備

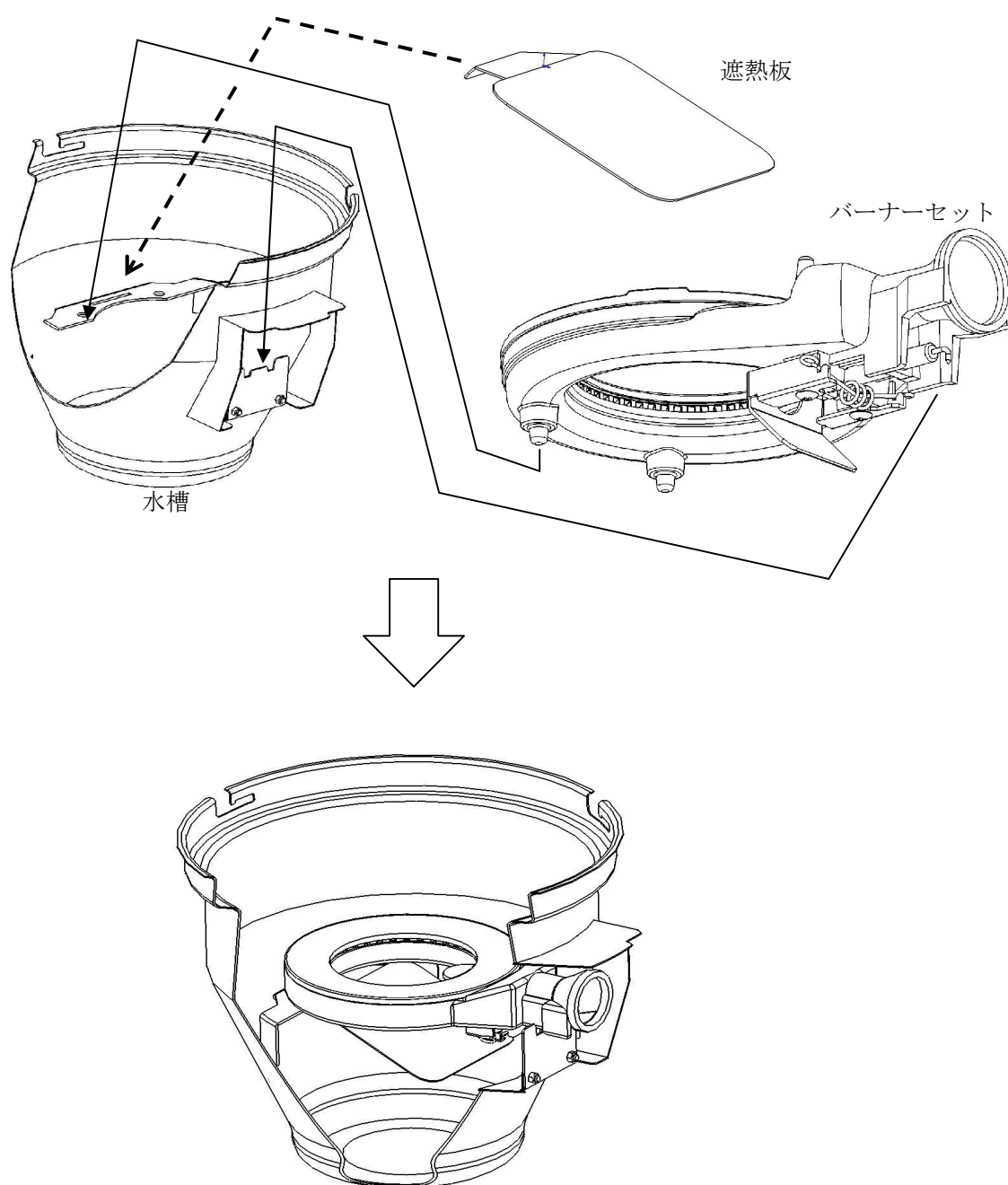
(各部の名前は 3 ページを参照してください。)

各用品のセット

1. 「フィルター・油受け・保護網」をセットして下さい。
2. 「水槽」「遮熱板」「バーナーセット」をセットしてください。

※1 あらかじめ「水槽」に「遮熱板」「バーナーセット」をセットしてから
「水槽」を本体に入れると、簡単にセットできます。

※2 「バーナーセット」を「水槽」にセットする際は
下図の様に しっかりとセットしてください。
セットが不十分だと 立消えや異常燃焼の原因となります。



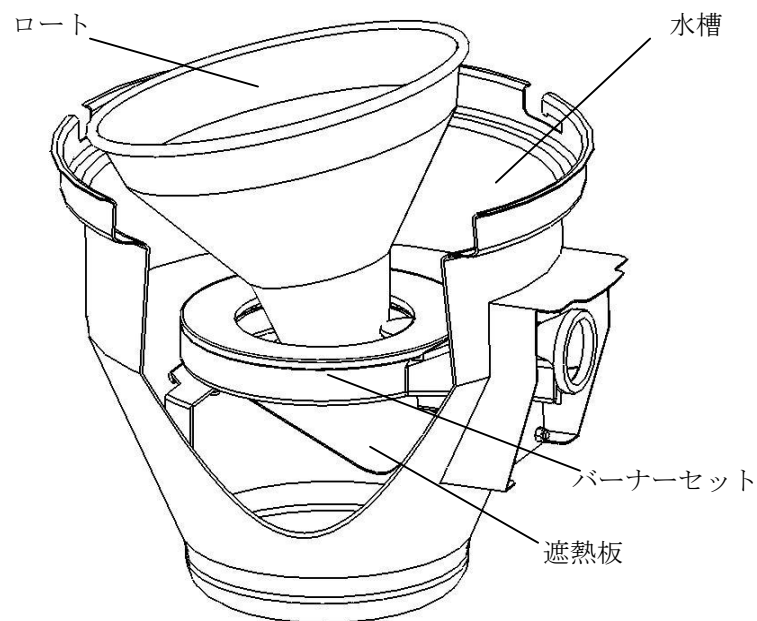
3. 「水槽」に水を入れてください。

※1 適量は 1,400cc です。

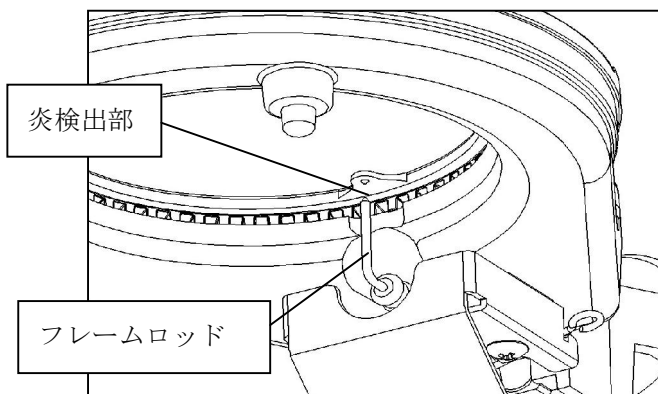
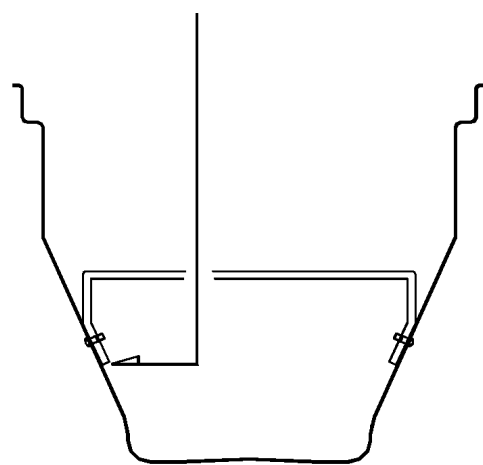
※2 付属の「ロート」をご利用ください。

※3 水を入れる際にバーナーに水がかかると、立消え安全装置の
誤動作や 着火不良の原因となります。

- ・ 特にフレームロッド（立消え安全装置のセンサー）の炎検出部が濡れたり 汚れていると 誤動作の原因となります。



バーナーを受けている部品の
このラインを目安に 水を入れてください。
(1400cc 程度です)



4. 「溶岩炭」「溶岩さな」「セラ炭つぼ」「トップリング」をセットしてください。

※1. 「溶岩炭」は約 300g を目安に使用してください。

※2. 「溶岩炭」は消耗品です。小さく磨耗してきましたら
補充してください。ただし、適量を超えると
不具合が発生しますので 約 300g を目安にしてください。

ー以上で準備は完了ですー

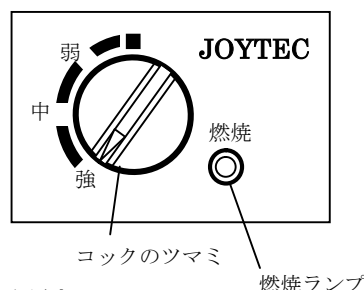
使いかた

点火、火おこしと火力調節

点火前に必ず換気扇を運転して下さい。

不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の恐れがあります。

1. 「コックのつまみ」を押しながら左（「強」の方向）へ
ゆっくり止まるまで回します。
※「コックのつまみ」を回すと自動的にロースターに 電源が入ります。
 - ・ ツマミを押したまま数秒間そのまま保持して下さい。
 - ・ 「チチチ…」と音がして点火します。
 - ・ 点火すると燃焼ランプが赤色に点灯します。※初めて使う時や、しばらく使わなかったときは、すぐに点火しない場合や
点火してもつまみから手を離すと消える場合があります。
その場合には コックのつまみを一度、閉の位置まで戻し、しばらく待ってから、
改めて操作を行なって下さい。
(再点火作業は 10 秒以上たってから行って下さい。10 秒以内での
再点火作業は安全装置が作動し、点火できない様になっています。)



2. 火力調節（弱・中・強）を行いながら 使用してください。

注意とお願い

- ・ お客様の変わり目などで、網を交換する時、「水槽」の水量を確認して下さい。
もし少なくなっていたら水を追加して下さい。空水の状態が続くと
器具内の温度が上がり 内蔵されたセンサーがそれを検知し、ブザーで知らせると
同時に ガスを遮断します。

消 火（ご使用後）

1. ガスコックのつまみが閉の位置（■ 印）になっているか確認して下さい。
2. 排気ファンスイッチは消火後、しばらくたってから消して下さい。
 - ・ 器具内を冷却させます。

お手入のしかた

1. トッピング・溶岩さな・セラ炭つぼ・遮熱板

- ・毎日、専用洗剤[オーブクリーナーFF/D9]（3～5倍希釈）で洗って下さい。
- ・乱暴に扱うとホーロー製品はヒビや変形がおこり異常燃焼の原因となります。
- ・トッピングは かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

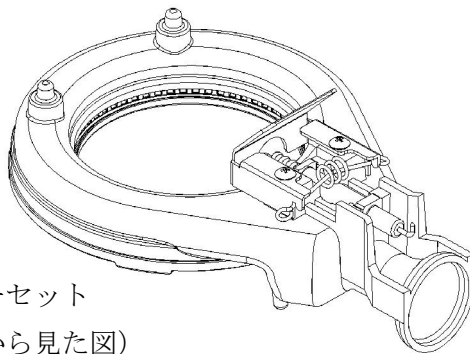
2. 溶岩炭

- ・溶岩は水洗いをしないで下さい。ご使用後はブラシ等で汚れを取り除いて下さい。
- ・溶岩が水に濡れた場合には、よく乾燥させてからご使用下さい。
乾燥が不十分なままで加熱しますと、飛び散ったりして、けがをすることがあります。
- ・溶岩はご使用になるうちに少しずつ小さくなっていきます。

3. アウターリング

- ・中性洗剤で 洗って下さい。
- ・かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

4. バーナーセット



バーナーセット
(裏側から見た図)

・バーナーセット

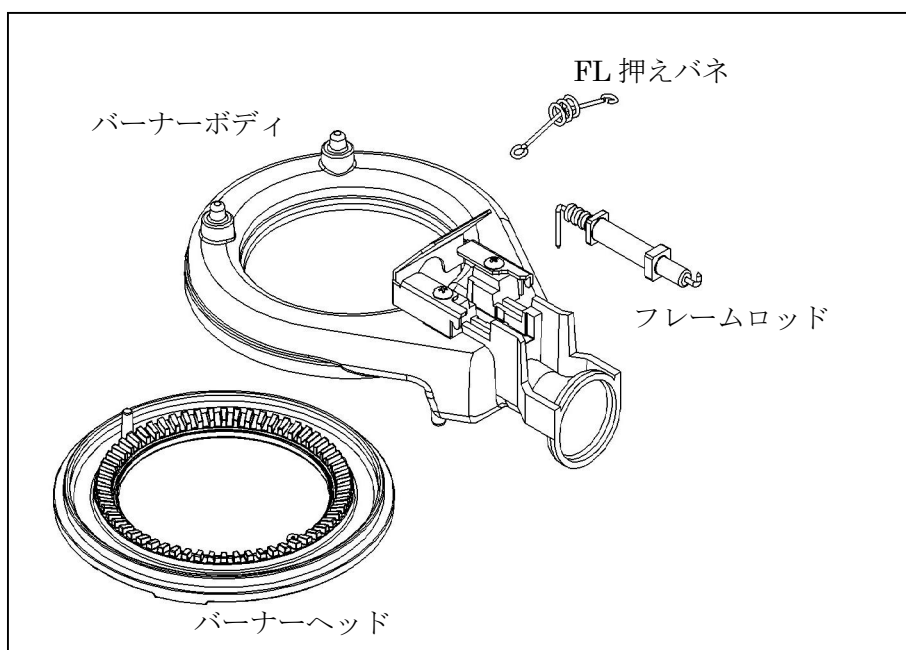
食器洗浄機などで洗浄してください。
その後、完全に乾燥させてからセットしてください。
汚れがひどいと安全装置の誤動作する原因になります。

・バーナーヘッド

炎孔の目詰まりなどがあれば取り除いてください。

・フレイムロッド

汚れがひどいときはバーナーボディから取り外してブラシなどで清掃してください。



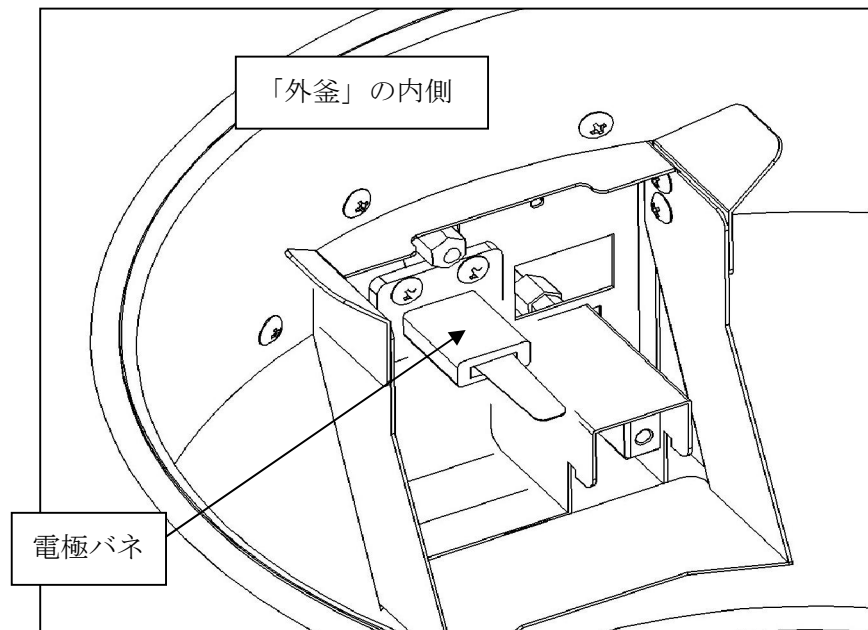
5. フィルター

- ・一週間に一度は専用洗剤「オーブクリーナーFF/D9」（3～5倍希釈）に2時間以上、浸けおきてきれいな水等ですすいだ後、十分に乾かして使用して下さい。
- ※汚れがひどくなると、排気ファンの能力を大幅に低下させます。

6. 外 釜 ・ 油 受 け ・ 保 護 網

- ・使用頻度にも異なりますが、定期的に汚れを拭き取って下さい。
- 「外釜」に汚れが溜まっているとダクト火災の原因になります。

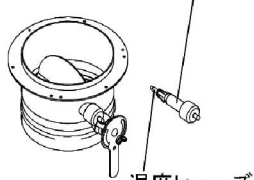
7. 電極バネ（立消え安全装置：フレイムロッド接点部）



- ・「電極バネ」はバーナーのフレイムロッドの信号を受け止める接点部です。
- 「電極バネ」が汚れていると 立消え安全装置の 誤動作となります。
- 矢印の部分^①をアルコールや中性洗剤などで拭き上げて汚れを取り除いてください。
- ※アルカリ洗剤は用いないでください。コーティングの剥がれの原因になります。

8. FVD（防火ダンパー）

- ・定期的に、ウエス等で汚れを拭き取って下さい。
- ※油脂による汚れが固着すると、防火の動作に支障をきたし火災原因になります。
- ※FVD が作動した場合（炎が排気経路に流入したときに作動します。）は 温度ヒューズホルダーを反時計方向に回転させて外し、内部の温度ヒューズを交換してください。その後、再びホルダーをセットしてください。

 ヒューズホルダー 温度ヒューズ	【重要なお知らせ】 1. FVD、温度ヒューズ、ヒューズホルダーの清掃を定期的実施して下さい。汚れ等が付着していると正常に作動しない恐れがあります。 2. 温度ヒューズ、ヒューズホルダーは定期的(1年ごと)に交換が必要です。 3. 1ヶ月に一度以上、FVDの作動テストを実施してください。 作動に不具合がある場合は、速やかにお買い上げの販売店、弊社まで修理依頼をお願いいたします。
---	--

仕様

・形 名	JX-B（放熱板タイプ）	
・形式名	JX-B1	JX-B2
・釜数	1 釜	2 釜
・焼き方	網 、 ロストル	
・電 源	100V 50/60Hz 共用	
・消費電力	4 W	8 W
・ガス消費量	都市ガス 13A 3.49kW LP ガス 3.49kW	都市ガス 13A 6.98kW LP ガス 6.98kW
・ガス接続方法	15A（Rc1/2）	
・点火方式	連続スパーク方式	
・水槽水量	1,400 cc（1 釜あたり）	
・安全装置	立消え安全装置 逆火防止装置 漏電遮断機 ダクト遮断装置	

株式会社 中部コーポレーション

本社 〒511-0944

三重県桑名市芳ヶ崎堂ヶ峰 1533-1

東京営業所 Tel. 03-5833-9968

名古屋営業所 Tel. 0594-32-1130

大阪営業所 Tel. 06-6788-2251

福岡営業所 Tel. 092-474-1312

さいごに

故障・異常の見分け方と処置方法

故障・異常の状態	原因	ガス栓が閉まっている	ガス管内に空気が残っている	フレームロッドの汚れ	バーナーの汚れ	ノズルの詰り	基板の故障	ブレーカーが上がっている	逆火による異常加熱
	点火しない	○	○	○	○	○	○	○	
	使用中に立消えした			○	○		○	○	○
	警報ブザーが鳴った				○				○
対処法	原因	ガス栓を開ける	点火操作を繰り返す	清掃してください	清掃してください	ノズル清掃棒で清掃してください	販売店に修理を依頼する	販売店に修理を依頼する	販売店に修理を依頼する
	ガス栓が閉まっている								
	ガス管内に空気が残っている								
	フレームロッドの汚れ								

アフターサービスについて

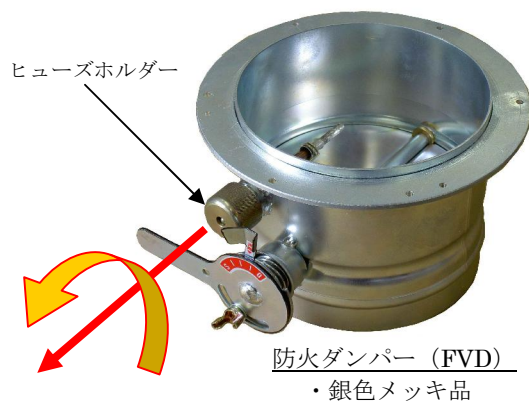
修理を依頼されるときは、まず「故障・異常の見分け方と処置方法」の項に従って お調べください。

直らないときは、保証書をよく読んでいただき 販売店に修理を依頼してください。

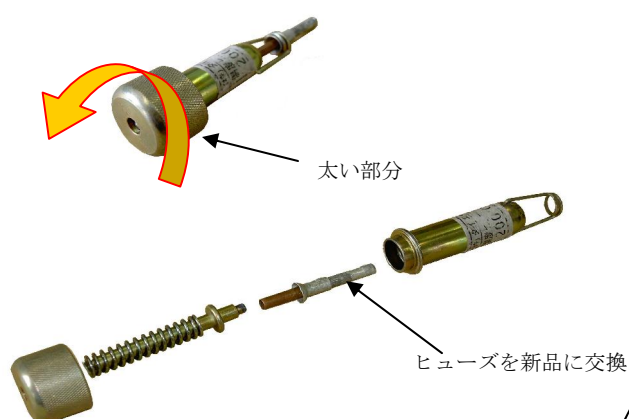
保障期間中に故障したときは 保証書を添えて 修理を依頼してください。

温度ヒューズ交換方法

下記の「1」～「5」の手順に従って
確実に実施してください。

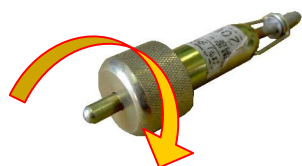


1. ヒューズホルダーを外れるまで左に回し、
防火ダンパー (FVD) から抜き取ってください。



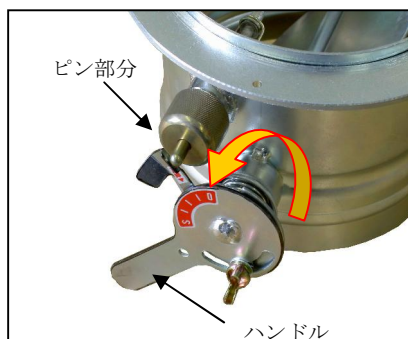
2. ヒューズホルダーの一番太い部分のみを左に回し、
写真のように分解してください。

3. ヒューズを新品に交換し、「2」で分解した逆の
手順で組み立ててください。



4. ヒューズホルダーを防火ダンパーに差し込んで、
右回しに、奥までしっかりとねじ込んでください。

5. 最後にハンドルを左に回して、ピン部分が
ロックできれば完了です。



注意とお願い

- ・温度ヒューズは重要な安全装置です。必ず専用の温度ヒューズを使用してください。
- ・温度ヒューズが無くなったときには、販売店もしくは弊社まで ご注文ください。